

## 重点目標に沿った事例（高等学校）

## （１）高等学校での取組事例 1

ICTスキル項目	（３）情報モラル・セキュリティ （ア）情報社会の倫理 （ウ）危険回避
学習活動名	社会と情報 ネットワークコミュニケーション（SNSの使い方）
学年	1年
学習活動・ICT活用の概要	<div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p>MetaMoJiClassRoom 使用</p> <p>SNS等に関して友人からされて嫌な行為</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 5つのアイコンを並べ替える</li> <li>・ グループ内で各自の画面を見せ合いながら順番や理由について意見共有</li> </ul> <p>SNS等に関して嫌な行為の理由</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 各グループで担当を決めて各番号の部分に入力</li> <li>・ モニタで意見共有</li> <li>・ 班の代表者が意見をまとめて発表</li> </ul>

- ・ 情報モラルについての内容を，単なる教師からの伝達とならぬよう，授業支援ツールを使った協働学習とし，生徒が主体的に考えられるようにしている。SNSに関する指導内容がより効果的に浸透すると考えられる。
- ・ 効果的な使用方法について各教員が試行錯誤することにより活用のレベルを上げているとの報告から，学校全体で取り組んでいるようすがうかがえる。
- ・ 課題としてアプリケーションの操作方法の説明や不具合の対応に時間がかかっているとのことであるが，授業者がその時々到场当たりの対応ではなく，ノウハウの共有により，組織的に進めようとしている点が評価できる。

( 2 ) 高等学校での取組事例 2

ICTスキル項目	( 2 ) 問題解決・探究における情報活用 (ア) 分類整理・まとめる力 (ウ) 情報収集力 ( 3 ) 情報モラル・セキュリティ (エ) 情報の取り扱い
学習活動名	「探究」課題探究中間発表会に向けて 総合的な探究の時間
学年	2年
学習活動・ICT活用の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「答えのない社会」「変化が当たり前の社会」を生き抜くために必要な力を探究活動を通じ磨く。</li> <li>・探究活動は，探究課題・仮説の設定を終え，解決策を見いだすために，インターネットを中心とした文献調査やアンケート集計を行い，課題に対し多面的に考えることができている。</li> <li>・今後はさらなる検証を行い，ICTを通じ仮説を検証する力を身につけていく。</li> </ul> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;">   </div>

- ・ 1人1台端末を用いることで，生徒1人1人が自由に文献調査・アンケート作成やその集計を行うことができる。このように生徒に自由に使うことにより，ICTを文房具として，日常的に活用するための取組となっている。
- ・ データの収集，統計的な処理等をICTにより効率的に行うことにより，考察に十分時間をかけることができるようになることが期待できる。ICTにより，従来の機能を代替するだけでなく，より質の高い活動が実現している点が良い。
- ・ ICTを用いることにより一斉授業が双方向型の授業になるとのコメントがあり，生徒の主体性を育み，情報収集力やプレゼンテーション能力を向上させることに成功しており，好事例である。

( 3 ) 高等学校での取組事例 3

ICTスキル項目	( 2 ) 問題解決・探究における情報活用 ( 工 ) コミュニケーション力
学習活動名	生物基礎 「光 - 光合成曲線」
学年	3 年
学習活動・ ICT活用の概要	  <p>MetaMoJiClassRoomでめくりや，付箋機能を使用し重要な用語やポイントを確認させながら授業を進めた。陽生植物と陰生植物のグラフを光補償点，光飽和点に注意しながらタッチペンを使用し，グラフ書かせた。またTVに生徒のタブレット画面を投映し，情報共有なども行った。後日授業で使用したパワーポイントをMicrosoftTeamsで配布し，授業の復習を行った。その後ClassiのWebテストを使って単元別の授業の確認をさせた。</p>

- ・ 授業支援ツールの活用だけではなく，クラウドサービスを用いての復習，Webテストを使って授業の確認といったように，一連の教科の取組の過程において，場面に応じて最適なツールを選択することでICTがうまく取り入れられている。
- ・ 授業の中でMetaMoJiClassRoomにより，生徒同士で実験結果について情報共有させており，協働的な学びを実現しているのがよい。
- ・ グラフの作成をデジタルで行うことは，何度も書き直すことができるという紙にはないメリットがあり，理科において，生徒が自分で試行錯誤できるという点で，非常に効果的な使い方である。
- ・ Webテストを使うことは，教員の業務改善にもつなげることができ，組織的な推進を進めるために有効であると考えられる。

( 4 ) 高等学校での取組事例 4

ICTスキル項目	( 2 ) 問題解決・探究における情報活用 ( 工 ) コミュニケーション力
学習活動名	生徒会オンラインミーティング 「成年年齢引き下げへの対応や各校の抱える課題について」
学年	3年
学習活動・ICT活用の概要	 <p>「成年年齢引き下げへの対応や各校の抱える課題について」というテーマで、Zoomを用いて協議を行った。参加校は、つるぎ，城ノ内中等教育学校・高校，海部，脇町，徳島商業，板野，阿南光高校の7校で各校の生徒会役員が参加した。初めに，自己紹介を行い，その後，テーマについて討論をした。</p>

- ・ ICTの利点を生かして，7校での距離を越えた交流を実現している。このような活動の事例をどんどん広めることで，同様の交流が活性化することにも力を入れてほしい。
- ・ 「成年年齢引き下げ」という今日的なテーマについて，生徒それぞれが自分のこととして考えることができるようにするため，交流学习を行うという目的がはっきりしており，ICT活用という手段が目的になっていない点が良い。
- ・ 初めは基本的な操作を指導するところからだったのが，現在では生徒だけで会議を開催し，様々な機能を使って交流を深めている。生徒が自分で主体的に，ICT機器を文房具として利用できるよう，継続した指導・支援を行っている好事例である。
- ・ このような取組には複数の教員がかかわる必要があり，組織的な推進をすすめるきっかけとして取り組みやすい。